

群馬県ハンセン病行政資料調査報告書

平成27年3月

群馬県健康福祉部保健予防課

報告書発行に寄せて

この群馬県ハンセン病行政資料調査の発端は、平成25年9月に国立ハンセン病療養所栗生楽泉園入所者自治会長からいただいた痛切な要望で、改め、長い間辛く悲しい思いをしてきた元患者の皆様の人を重く受け止める、どのような史実があったのかを明らかにし、なげないといふ思いの中で、平成26年度に健康福祉部保健予防課内に専任の職員を配置し、過去の県行政資料の調査に取り組みました。

今回の調査は県に保存されている明治33年度から昭和35年度までの行政資料を調査したものです。幸いにし本県には戦前の資料が保存され、行政資料を調査するのと、地域の状況や内容及び市町村の施策など、これまであまり触れられなかった調査内容となつていきます。

これまで群馬県では、ハンセン病に関する正しい理解の促進に努めてきましたが、元患者の方々が、社会のハンセン病に対する誤った認識により差別や偏見に苦しんでいたという歴史を考えますと、あらためて痛恨の念を禁じ得ません。

こうした悲劇が二度と起こらないようにするためには、元患者の皆様の人をしっかりと受け止めて、そして後世に確実に伝えていかなければなりません。この「群馬県ハンセン病行政資料調査報告書」が、ハンセン病問題はもとより、今後の感染症対策における人権尊重の重要性への認識をより一層深め、差別や偏見のない社会づくりに資するものになることを願ってやみません。

平成27年3月

群馬県知事 **大澤正明**

目次

ページ

【本文編】		
はじめに		・・・ 1
第一章 全国調査と法律制定		・・・ 1
第一節 全国調査と実情把握		
第二節 法律の制定		
第三節 訓令		
第二章 第一府県立全生病人院の成立と拡張		・・・ 4
第一節 全生病人院と患者送致		
第二節 全生病人院の費用負担		
第三節 全生病人院の拡張		
第三章 湯ノ沢集落と聖バルナバ医院		・・・ 5
第一節 湯ノ沢地区への患者集住		
第二節 聖バルナバ医院と栗生泉園		
第三節 全生病人院の移管と湯ノ沢集落の解散		
第四章 戦後公文書にみる患者		・・・ 10
おわりに		・・・ 10
【資料編】		
1 明治33年 第一回全国調査（内務省）		・・・ 11
2 明治38年 全国癩患者概数表		・・・ 12
3 明治39年 全国癩患者概数表		・・・ 14
4 明治39年 郡市別癩患者数表		・・・ 15
5 明治40年 「癩予防ニ関スル件」（法律第11号）		・・・ 15
6 明治40年 知事事務引継書（連合府県療養所建設予算）		・・・ 16
7 明治42年 癩の予防及び癩患者の取扱い		・・・ 16
8 明治42年 癩の予防法施行に伴う内務省衛生局長訓示事項等復命		・・・ 19
9 明治42年 全生病人院への患者収容		・・・ 20
10 明治42年 湯ノ沢地区患者の細菌検査に係る意見具申		・・・ 20
11 明治43年 癩患者等の幼老同伴者の救護補助に係る国への要望		・・・ 21
12 大正2年 知事事務引継書（全生病人院送致数及び湯ノ沢集落移転経過）		・・・ 21
13 大正3年 草津町温泉使用料条例		・・・ 21
14 大正3年 警察署巡閲注意事項		・・・ 22
15 大正5年 予防方法に関する各府県の意見		・・・ 24
16 大正7年 全生病人院収容癩患者調（郡市別）		・・・ 25
17 大正11年 全生病人院予算協議会復命書		・・・ 25
18 大正12年 湯ノ沢集落移転及び救護施設の新設に関する県会建議書		・・・ 26
19 大正14年 患者救護に関する内務省衛生局長通知		・・・ 26
20 大正14年 癩患者全国一斉調査統計（内務省）		・・・ 27
21 大正14年 全国癩患者概数（大正8年との比較）		・・・ 33
22 昭和元年 県内癩患者調査		・・・ 34
23 昭和2年 湯ノ沢集落患者騒擾事件に係る警察費予算追加伺		・・・ 35
24 昭和2年 全生病人院拡張に係る予算追加議案		・・・ 35
25 昭和3年 全生病人院各府県分担金の算出内訳		・・・ 36
26 昭和5年 国立癩療養所設置に関する県会質疑		・・・ 36
27 昭和6年 「癩予防法」（法律第58号）		・・・ 37
28 昭和6年 群馬県における癩予防法施行細則（群馬県令第53号）		・・・ 38
29 昭和6年 群馬県における癩予防法施行手続		・・・ 39
30 昭和6年 知事事務引継書（国立自由癩療養地区の設置決定及び癩予防協会 会員募集の一時中止）		・・・ 41
31 昭和7年 草津癩療養所敷地内に建設する建物及び営業について（内務省通知）		・・・ 41
32 昭和7年 群馬県県税賦課徴収条例中改正議案		・・・ 42
33 昭和7年 巡査配置のための予算要求		・・・ 42
34 昭和9年 陸軍大演習に係る栗生泉園及び聖バルナバ医院の視察概要		・・・ 43
35 昭和10年 草津町県会議員選挙		・・・ 45
36 昭和10年 栗生駐在所警察電話線路架設寄付願		・・・ 46
37 昭和11年 警察署別癩患者調査表		・・・ 46
38 昭和11年 私立・官公立癩療養所別患者異動月報		・・・ 47
39 昭和14年 栗生泉園引湯問題		・・・ 48
40 昭和16年 知事事務引継書（湯ノ沢集落移転問題）		・・・ 48
41 昭和17年 湯ノ沢集落移転に係る予算追加及び進捗状況		・・・ 55
42 昭和27年 知事事務引継書（県内在宅癩患者数と貞明皇后記念救癩事業募金）		・・・ 56
43 年次不詳 癩予防に係る執務摘要		・・・ 56
44 明治43～大正元年 草津町湯ノ沢集落移転に係る編綴書類		・・・ 58

※凡例
・本文編に「資料○」とは、資料編の番号を指す。
・資料編に「資料【】」とは、資料の番号、続年度は所属年度、「」内は表題
・各資料は縦書きの文書中の関連部分の抄録したもの
・原文は縦書きの文書に漢数字で標記されていたものは、適宜算用数字に直した。
・原文に「○」の文字は「○」で表した。
・判読に不備のあるものは「○」で表した。
・個人情報は差別的と見られるものについては、歴史的資料であるためそのままとした。